

# グローバルインターンシップ インド 2018 夏

## 《プログラム趣旨》

グローバルインターンシップ・インドプログラムでは、現地の企業・NGOにおいて3週間程度の就業体験を行います。

また派遣の前後には、事前学習、事後学習が行われ、目標設定、就業体験の意義、学生自身の専門との関係、体験の振り返りをグループワーク、ディスカッションを通じて掘り下げていきます。

インドプログラムは、インドの現地企業・NGOにて、外国語を用いた実践的なコミュニケーションと現場で要求されるスキルを身をもって体験する、実践的なインターンシップが特徴になっています。



## 《履修の流れ》



- T1 : エントリー、面談（教員、コーディネーター、派遣先）  
T2 : 「グローバルインターンシップ事前学習」[木曜日6限]受講  
T3 : インド・プネにて現地企業・NGOにて専門性の高い就業体験  
T4 : 事後学習（振り返り、成果報告）

## ◆ 開催時期：8月18日(土)～9月10日(月)【予定】

### 応募資格

- 応募時に千葉大学の学部2年次以上に在籍している者
- 応募締切、選考試験、事前・事後学習、報告等に期限を守って参加義務を果たせる者
- 各派遣先企業が提示する応募条件を満たしている者
- 履修に当たり、担当教員の指導のもと安全に海外渡航及びプログラムに参加できる者

### 参加費

- 渡航費（約10～15万円） ● 海外旅行保険加入費 ● 危機管理システム加入費 ● VISA 申請料 ● 宿泊・コーディネート費用（20万円前後） ● 国内交通費 ● その他個人的な支出（食費など）

奨学金：給付型6万円 支給については学業成績などで判断されます。



### 派遣都市：プネ

- ・ インド有数の学園都市：プネ
- ・ プネ大学を中核に、近年IT産業の集積地として大きく発展を遂げている。
- ・ インドの大都市の中では、治安・衛生面においては、もっとも安全な街。
- ・ ヒन्दウー教徒の多い地域でありながら、イギリス植民地時代の建物も残る街。
- ・ IT、環境、社会起業、教育など専門性が高い派遣先
- ・ 日本語が堪能な現地コーディネータの下、現地大学生が生活をサポート

### スケジュール（案）

- 8月18日（土）成田空港発、インド・プネ着
- 8月20日（月）就業体験開始
- 9月7日（金）就業体験終了
- 9月9日（日）インド・プネ発
- 9月10日（月）成田空港着 解散

●千葉大学の規定に則り、外務省「海外安全ホームページ」における安全対策!"つのカテゴリーに従って、渡航地域がレベル3以上になった場合は渡航を中止また渡航中である場合はプログラムをキャンセルし帰国等の対応をします。

●天災、火災、不慮の災害、政府及び公共団体の命令、ストライキ、戦争、盗難、暴動、税関規則など、不可抗力の事由により生じた損失、病気、または本人の責め、その他の事由により発生した事故などについては責任を負いかねます。また、上記の事情により担当教員の判断によってプログラムを中止する場合があります。

## 派遣先企業

企業名	人数	応募条件	業務内容
Fidel Softech Pvt Ltd.	3-5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>インド人のライフスタイルやワークスタイルを経験することを肯定的な態度で受け入れることができる。</li> <li>IT企業で働くことを希望する方</li> <li>一定レベルの英会話力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT（ソフト開発業務、システム試験業務）</li> <li>翻訳、ローカリゼーション（日・英）業務</li> <li>人事（HR）</li> <li>セールス、マーケティング</li> </ul>
Door Step School (NGO)	3-5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルワーク活動に興味のある方</li> <li>言葉の壁を乗り越え、学習環境・設備が十分整っていない厳しい環境でチャレンジできる方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地の子供たちへの語学教育</li> <li>建築現場での学習施設を訪問しての、教育及び支援業務</li> <li>センターでの教材作成支援業務</li> <li>スラム地域での啓蒙活動</li> </ul>
Sustainability Initiatives	2-4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市開発、環境問題、建築、教育訓練などに関心の高い方</li> <li>英語でのコミュニケーション能力のある方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画、環境、エネルギーとエコロジー分野における研究、知識創造、出版、啓蒙プロジェクトに関する業務</li> <li>都市計画チームのコンサルティング・アシスタント</li> </ul>
Tilak Maharashtra Vidyapeeth	1-2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>素直な心で異文化を享受し、社会的常識を備えている事</li> <li>武道（特に柔道は歓迎）に精通してる方歓迎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語学科での講師アシスタント業務</li> <li>教師の指導の下、様々なレベルでの日本語会話クラスの運営</li> <li>日本文化を教える</li> </ul>
Samuchit Enviro Tech Pvt Ltd.	1-2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校レベルの基礎科学知識</li> <li>工具類を使用できる（例えばペンチ、ドリルなど）</li> <li>業務上必要な英語によるコミュニケーションスキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオマスエネルギー装置試験製品の製造業務</li> <li>実験室条件下での性能評価</li> <li>データ収集と一次解析</li> </ul>
ADIWASI VIKAS PROBODINI (NGO)	2-3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>物作りや絵を描くことに興味がある方</li> <li>素直で思いやりを持って障がい者と接することができ、お互い助けあって作業を行うことが出来る方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚障害者との共同作業により、言語を越えたコミュニケーションの取り方を学び、指導していく方法等を支援</li> <li>再利用できる素材を活用した物作りの楽しさを体験する</li> </ul>
VIZITECH SOLUTIONS PVT. LTD.	2-3名	インド人社員と一緒に顧客訪問など営業活動に興味があり、社員達と積極的にコミュニケーションが取れる方	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイナンス向けソーシャル・プロダクツの作成</li> <li>主に営業マーケティングの仕事を中心に、顧客対応用の書類作成や営業活動</li> </ul>

## 応募方法

- ① Moodle2018> 「グローバルインターンシップ1」に登録  
登録キー： **G15K31101**
- ② 「エントリーシート」「面接希望票」をダウンロード
- ③ 「エントリーシート」「面接希望票」に必要情報を記載後、Moodleにて提出  
※手書き不可、書式変更不可  
締切：**5月11日(金) 17:00**
- ④ 担当教員から面接日程の連絡（エントリー後すぐに連絡します）
- ⑤ 面接（教員・派遣先企業）

### ■相談期間■

プログラム選択に迷っている、参加するに当たって不安や疑問がある、という場合は応募前に担当教員が相談を受け付けます。教員の空き時間情報についてはMoodle上に掲示してあります。それを参考に教員と日程調整してください。

相談受付期間：4月23日(月)～5月11日(金) 担当教員：国際教養学部崎山

## インドでの生活

- インドへ渡航するにあたって、パスポート取得、VISA取得、保険加入、危機管理システム加入等の手続きが必要です。
  - プネでは、コーディネータの管理する、宿泊所（マンション）を、他のインターンシップ生（2~3名）とシェアすることになります。
  - 宿泊所には、キッチン、リビング、浴室、トイレなどの共有スペースと鍵の掛かる個室からなります。TV、WIFI、冷蔵庫、洗濯機などの電化製品、インフラは整っています。
  - 閑静な住宅街に位置し、周辺には商店や総合病院などもあり、快適な環境です。
  - キッチンがあるので、簡単な料理は可能です。
  - インドは熱帯地域に位置し、衛生環境や医療事情等が日本と異なります。必要に応じて、事前に予防接種を受けたり、薬を持参するなどの準備が必要です。
- \*その他詳細は事前学習等で出発前までに説明を行います。\***



### 【インドでのサポート】

プネでは、日本に在住経験があり、日本語が堪能なコーディネーターが千葉大生のプログラム手配をしてくれています。また現地の学生チューターが、日々の生活の様々な面に渡り、サポートしてくれます。学生チューターのほとんどが、将来日本と関わる職業に就きたいと考えており、1年～2年程度日本語を勉強した人たちで、日本語能力は大変高く、日常会話はもちろん、様々な文化背景や手続きなどを説明してくれます

左写真：Ms. Kshipra Potdar（現地コーディネーターのシプラさん）

## 問い合わせ先

国際教養学部 崎山 直樹  
総合校舎1号館 2階 208号室  
メール：nasastar@faculty.chiba-u.jp